

ダイワ／ミレーアセット 亜細亜株式ファンド

運用報告書(全体版) 第14期

(決算日 2023年 1月20日)

(作成対象期間 2022年 7月21日～2023年 1月20日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2016年 1月21日～2026年 1月20日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	当 ファ ン ド	イ. ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド (円クラス)」の投資証券 (円建) ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、アジア・オセアニアおよび日本のアジア・ワン企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

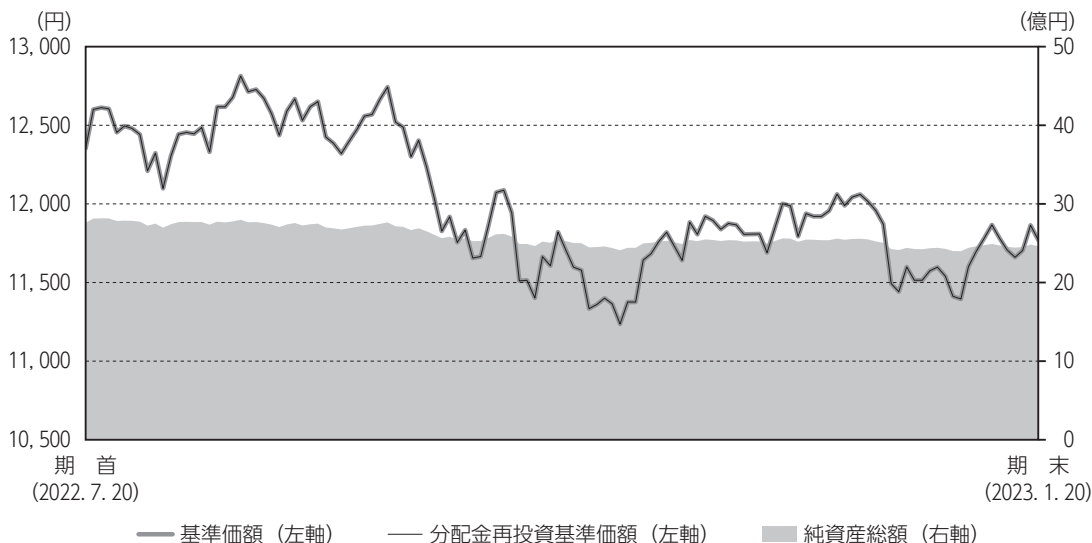
決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC Asia Pacific 指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
10期末 (2021年 1 月20日)	14,751	1,400	25.2	18,348	25.2	—	99.7	4,669
11期末 (2021年 7 月20日)	13,645	750	△ 2.4	18,744	2.2	—	99.1	3,868
12期末 (2022年 1 月20日)	12,873	0	△ 5.7	18,687	△ 0.3	—	98.9	3,158
13期末 (2022年 7 月20日)	12,353	0	△ 4.0	18,800	0.6	—	98.1	2,762
14期末 (2023年 1 月20日)	11,771	0	△ 4.7	18,845	0.2	—	99.5	2,462

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期 首：12,353円

期 末：11,771円（分配金 0 円）

騰落率：△4.7%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

アジア・オセアニア株式市況が上昇したことはプラス要因となりましたが、為替が円高に推移したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I A C Asia Pacific 指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2022年 7 月20日	円	%		%	%	%
	12, 353	—	18, 800	—	—	98. 1
7 月末	12, 442	0. 7	18, 815	0. 1	—	98. 4
8 月末	12, 618	2. 1	19, 119	1. 7	—	99. 3
9 月末	11, 833	△ 4. 2	17, 787	△ 5. 4	—	99. 6
10月末	11, 236	△ 9. 0	17, 647	△ 6. 1	—	98. 7
11月末	11, 850	△ 4. 1	18, 946	0. 8	—	99. 3
12月末	11, 540	△ 6. 6	18, 146	△ 3. 5	—	98. 9
(期末) 2023年 1 月20日	11, 771	△ 4. 7	18, 845	0. 2	—	99. 5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 7. 21 ～ 2023. 1. 20)

■アジア・オセアニア株式市況（除く日本）

アジア・オセアニア株式市況（除く日本）は上昇しました。

アジア・オセアニア株式市況（除く日本）は、当作成期首から2022年8月中旬にかけて、米国の過度なインフレ懸念の後退や利上げペースの鈍化期待を受けて投資家心理が改善し、上昇しました。10月下旬にかけては、世界的なインフレ率の高まりや主要中央銀行の積極的な利上げによる景気悪化懸念、米国政府による半導体製造装置の対中輸出規制強化などが嫌気され、下落しました。また、中国共産党大会を受けて習近平国家主席への権力集中に対する懸念が高まったことなどを背景に、中国が大きく下落しました。12月中旬にかけては、市場予想を下回る米国のCPI（消費者物価指数）を受けて米国の金融引き締めペースの減速期待が高まったことや、中国のゼロコロナ政策の緩和が好感されたことから上昇しました。その後は、中国本土と香港およびマカオの往来規制の緩和を受け、経済再開期待が高まった中国を中心に当作成期末にかけて上昇しました。

■日本株式市況

国内株式市況はおおむね一進一退で推移しました。

国内株式市況は、当作成期首より、インフレ率がピークアウトするとの期待感などもあり、2022年8月中旬にかけて上昇が続きました。その後は、予想以上のインフレ率の上昇を受けて欧米の金利が上昇したことや、英国の財政悪化懸念から英国債が急落したことなどが嫌気され、9月末にかけて下落しましたが、欧米の金利上昇が一服したことや、国内における新型コロナウイルスの水際対策緩和による経済活動正常化への期待が高まったことなどから、11月下旬にかけて上昇しました。12月に入ると、世界的な景況感の悪化により上値の重い展開となり、また日銀の政策変更発表を受けて為替相場場で急速な円高が進行したことなどが懸念され、12月末にかけて株価は下落しました。2023年に入ると、米国のインフレ鈍化への期待や次回FOMC（米国連邦公開市場委員会）での利上げ幅縮小への期待、中国や欧米の景気への見方の好転、さらには一部で修正観測があった日銀金融政策決定会合での政策現状維持などにより、当作成期末にかけて株価は上昇しました。

■為替相場

アジア・オセアニア通貨の対円相場は、下落（円高）しました。

アジア・オセアニア通貨の対円相場は、当作成期首から2022年10月にかけては、日米の金融政策のかい離を受け、大きく円安米ドル高方向に進行したことに連れる形で、対円で上昇（円安）しました。その後は、インフレ率の減速期待などから米国金利が低下したことや、日銀が想定外の政策修正を行ったことで日本の長期金利が大きく上昇し、金融緩和政策の転換などが意識されたことで、米ドルが対円で大幅に下落したことなどを背景に、当作成期末にかけてアジア・オセアニア通貨は対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＡＰエクイティ・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、ＡＰエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＡＰエクイティ・ファンド：ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）

■ＡＰエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで連携して運用を行ってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資してまいります。ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に注目してまいります。個別銘柄では、ＥＶ（電気自動車）の需要拡大から恩恵を受ける中国の自動車関連銘柄、スポーツ消費拡大から恩恵を受ける中国のスポーツ用品関連銘柄などに投資妙味があると考えます。

・日本株式

国内株式市況は、一進一退の展開を想定します。欧米を中心とした金融引き締め政策や、エネルギー価格の高止まりなどから、グローバル経済の減速に対する警戒が強まる状況は継続すると考えます。一方で、一部の資源価格はすでにピークアウトしており、株価指標面にも割高感はない水準にあり、株価の下値も限定的と考えます。

個別銘柄の選定にあたりましては、ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行います。脱炭素社会やロボット・省人化など中長期的なテーマ性を有する設備投資関連、素材関連を中心としたポートフォリオを構築します。アジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連株に引き続き注目してまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 7. 21 ～ 2023. 1. 20)

■当ファンド

当ファンドは、A Pエクイティ・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。A Pエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することをめざしました。

■A Pエクイティ・ファンド

アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、定量・定性分析に基づいてミレーアセット社と大和アセットマネジメントで構成されるファンド委員会で決定しました。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資しました。国別構成では、中長期的な消費拡大が期待された中国やインドを参考指数と比較してオーバーウエートとしました。個別銘柄では、ALIBABA GROUP HOLDINGS（中国、一般消費財・サービス）やLI NING（中国、一般消費財・サービス）などを高位に組み入れました。

・日本株式

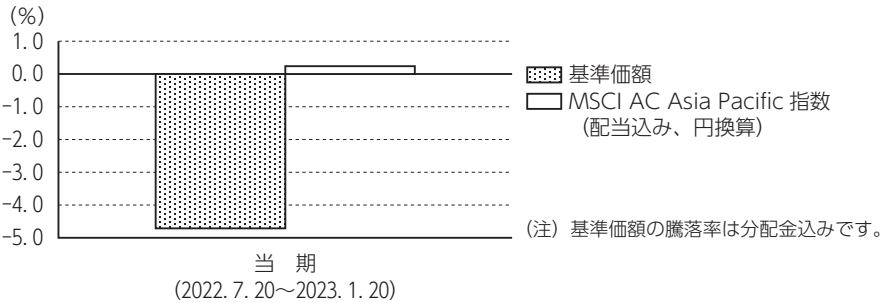
業種構成は、アジア各国における生活水準の向上や急速に進む高齢化の恩恵を受けるヘルスケア、アジアの消費拡大の恩恵を受ける生活必需品などをオーバーウエートとしました。一方で、グローバル景気の影響を受けやすい資本財・サービスなどをアンダーウエートとしました。個別銘柄では、業績見通しや株価指標、アジア展開の潜在力などを総合的に勘案し、ソニーグループ、日立製作所、ダイキン工業などを高位に組み入れました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。
参考指数はアジア・オセアニアおよび日本の株式市況の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年 7月21日 ～2023年 1月20日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,968

（注 1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注 2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注 3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＡＰエクイティ・ファンドとダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、ＡＰエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＡＰエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで連携して運用を行ってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和アセットマネジメントで構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資してまいります。ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に注目してまいります。個別銘柄では、ＥＣ（電子商取引）需要への高まりから恩恵を受ける中国のオンラインサービス関連銘柄や、スポーツ消費拡大から恩恵を受ける中国のスポーツ用品関連銘柄などに投資妙味があると考えます。

・日本株式

国内株式市場は、世界的な景気減速懸念と日銀の金融政策のさらなる修正への思惑などにより、不安定な動きになりやすいと考えます。2023年2月にかけて日銀の次期総裁候補が明らかになると見込まれます。次期総裁候補によっては、日銀による金融政策修正への思惑が高まり、円高が進行する可能性が想定されるため、注意が必要と考えます。

個別銘柄の選定にあたりましては、ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行います。脱炭素社会やロボット・省人化など中長期的なテーマ性を有する設備投資関連、素材関連を中心としたポートフォリオを構築します。アジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連株に引き続き注目してまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 7. 21～2023. 1. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	75円	0. 626%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12, 008円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0. 194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(50)	(0. 416)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	76	0. 631	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

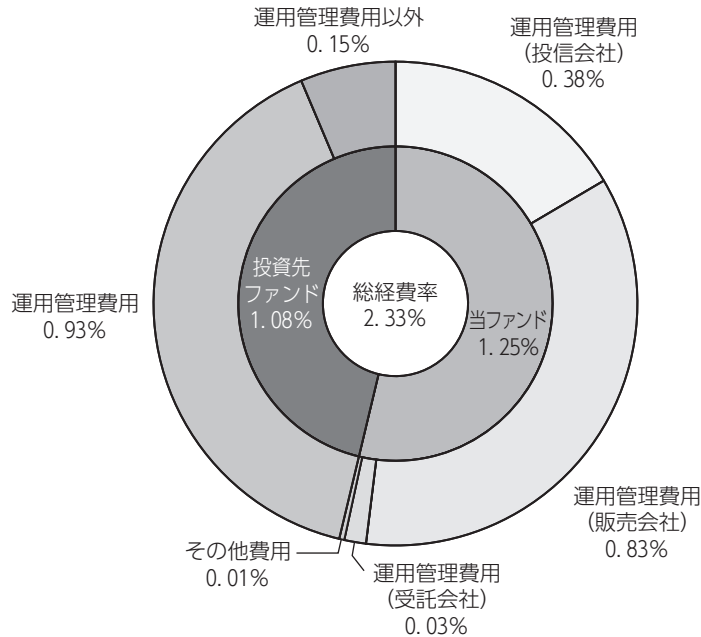
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.33%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.33%
①当ファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.93%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

（注1）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資証券

(2022年7月21日から2023年1月20日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	—	—	865.2023826	150,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資証券

(2022年7月21日から2023年1月20日まで)

当 期				期 付			
買		付		売		付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND (ルクセンブルグ)	865.2023826	150,000	173

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資証券 (ルクセンブルグ) MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND	14,500.2253315	2,450,552	99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	4	4	4

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年1月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	2,450,552	98.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	4	0.0
コール・ローン等、その他	32,792	1.3
投資信託財産総額	2,483,349	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年 1 月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2, 483, 349, 091円
コール・ローン等	32, 792, 361
投資証券（評価額）	2, 450, 552, 581
ダイワ・マネースtock・マザーファンド（評価額）	4, 149
(B) 負債	21, 346, 708
未払解約金	5, 004, 593
未払信託報酬	16, 234, 455
その他未払費用	107, 660
(C) 純資産総額（A－B）	2, 462, 002, 383
元本	2, 091, 599, 601
次期繰越損益金	370, 402, 782
(D) 受益権総口数	2, 091, 599, 601口
1 万口当り基準価額（C／D）	11, 771円

* 期首における元本額は2, 236, 350, 660円、当作成期間中における追加設定元本額は2, 080, 955円、同解約元本額は146, 832, 014円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11, 771円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	136, 200, 369
(d) 分配準備積立金	693, 822, 960
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	830, 023, 329
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	830, 023, 329
(h) 受益権総口数	2, 091, 599, 601口

■損益の状況

当期 自 2022年 7 月21日 至 2023年 1 月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8, 253円
受取利息	196
支払利息	△ 8, 449
(B) 有価証券売買損益	△ 105, 315, 533
売買益	4, 398, 721
売買損	△ 109, 714, 254
(C) 信託報酬等	△ 16, 342, 115
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 121, 665, 901
(E) 前期繰越損益金	350, 586, 817
(F) 追加信託差損益金	141, 481, 866
（配当等相当額）	(136, 200, 369)
（売買損益相当額）	(5, 281, 497)
(G) 合計（D＋E＋F）	370, 402, 782
次期繰越損益金（G）	370, 402, 782
追加信託差損益金	141, 481, 866
（配当等相当額）	(136, 200, 369)
（売買損益相当額）	(5, 281, 497)
分配準備積立金	693, 822, 960
繰越損益金	△ 464, 902, 044

（注 1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

（注 2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注 3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

AP エクイティ・ファンド

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット垂細垂株式ファンド）は、ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）」の投資証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

貸借対照表（2022年 3 月31日現在）

	(USD)
投資有価証券簿価	19,740,389
評価損益	3,465,378
投資有価証券時価評価額	23,205,767
現金	442,786
未収配当金および未収利息	82,701
投資有価証券売却に係る未収入金	125,882
資産合計	23,857,136
当座借越	112,073
投資有価証券購入に係る未払金	67,889
未払費用	60,344
負債合計	240,306
純資産	23,616,830
1口当りの純資産	
Jクラス JPY シェア	177.18
発行済み口数	
Jクラス JPY シェア	16,219,556.308

損益計算書および純資産変動計算書（2022年3月31日に終了した会計期間）

	(USD)
期首純資産	40,602,876
配当（源泉徴収税控除後）	297,898
受取利息	2,454
その他収益	19,226
収益合計	319,578
運用会社報酬	18,042
投資管理報酬	215,037
保管および預託報酬	35,721
監査および弁護士費用	20,649
管理および会計報酬	36,834
登録および移転手数料	15,435
年次税	3,119
出版・印刷費	5,745
その他の税金	141,954
税金計算および報告報酬	308
取引費用	67,412
その他の費用	15,698
費用合計	575,954
投資による損益（総額）	(256,376)
実現損益	
投資有価証券売却	3,273,063
為替先渡取引	(902)
為替取引	(68,921)
評価損益の増減額	
投資有価証券	(8,301,939)
運用に係る純資産の期中増減額	(5,355,075)
解約に対する支出	(11,630,971)
設定・解約による収支	(11,630,971)
期末純資産	23,616,830

2022年3月31日現在の投資明細表（米ドル建て）

数量	銘柄明細	評価額	純資産に 占める割合%
公式な取引所の上場が認められた譲渡可能な証券および金融市場商品			
	債券		
5, 972	Britannia Industries Limited 5. 50% 3/Jun/24**	2, 269	0. 01
	債券合計	2, 269	0. 01
	株式		
4, 500	AGC Inc.	181, 390	0. 77
43, 700	Alibaba Group Holding Limited	625, 676	2. 65
8, 238	Apollo Hospitals Enterprise Limited	490, 976	2. 08
55, 600	Asahi Kasei Corp.	485, 475	2. 06
8, 148	Asian Paints Limited	331, 184	1. 40
393, 000	Ayala Land Inc.	266, 209	1. 13
976, 800	Bank Central Asia Tbk Pt	542, 416	2. 30
3, 563	Britannia Industries Limited	150, 768	0. 64
40, 500	BYD Company Limited	1, 160, 753	4. 91
1, 400	Casio Computer Company Limited	16, 199	0. 07
19, 684	China International Travel Service Corp. Limited - A	509, 472	2. 16
35, 000	China Merchants Bank Company Limited - H	275, 143	1. 17
3, 700	Contemporary Amperex Technology Company Limited - A	298, 477	1. 26
1, 285	CSL Limited	258, 068	1. 09
2, 400	Daifuku Company Limited	173, 366	0. 73
12, 400	Daiichi Sankyo Company Limited	273, 099	1. 16
1, 500	Daikin Industries Limited	276, 247	1. 17
7, 400	Denso Corp.	477, 988	2. 02
10, 600	Dexerials Corp.	291, 384	1. 23
1, 500	Fanuc Corp.	266, 816	1. 13
18, 030	Foshan Haitian Flavouring & Food Company Limited - A	248, 194	1. 05
8, 200	Fuji Electric Holdings Company Limited	415, 105	1. 76
8, 400	Fujifilm Holdings Corp.	517, 868	2. 19
13, 640	Grab Holdings Limited - A	48, 422	0. 21
19, 100	Han' s Laser Technology - A	115, 371	0. 49
30, 791	HDFC Bank Limited	597, 475	2. 52
8, 930	Hindustan Lever Limited	241, 432	1. 02
10, 500	Hitachi Limited	531, 967	2. 25
2, 900	Hoya Corp.	334, 362	1. 42
5, 800	Ibiden Company Limited	288, 368	1. 22
186, 900	IHH Healthcare Bhd	275, 588	1. 17
25, 400	Isuzu Motors Limited	331, 472	1. 40
295	JD. com Inc. - A	8, 817	0. 04
8, 602	Kakao Corp.	755, 838	3. 19
6, 300	Kurita Water Industries Limited	235, 308	1. 00
213	LG Household & Health Care Limited	150, 781	0. 64
149, 500	Li Ning Company Limited	1, 290, 774	5. 47
13, 198	Midea Group Company Limited - A	118, 459	0. 50
2, 300	Mitsubishi Corp.	86, 965	0. 37

数量	銘柄明細	評価額	純資産に 占める割合%
3, 100	Monogatari Corp.	148, 268	0. 63
2, 796	Naver Corp.	785, 478	3. 32
1, 071	Nestle India Limited	245, 656	1. 04
1, 000	Nitori Holdings Company Limited	126, 228	0. 53
13, 100	Nomura Research Institute Limited	432, 773	1. 83
2, 800	Oriental Land Company Limited	540, 971	2. 29
6, 800	Osaka Organic Chemical Industry Limited	171, 278	0. 73
10, 900	Pan Pacific International Holdings Corp.	175, 926	0. 74
9, 747	Reliance Industries Limited	338, 911	1. 44
3, 000	Rohm Company Limited	236, 430	1. 00
6, 815	Samsung Electronics Company Limited	391, 341	1. 66
1, 419	Sea Limited	175, 161	0. 74
52, 585	Shanghai International Airport - A	407, 391	1. 73
3, 800	Shin-Etsu Chemical Company Limited	586, 778	2. 48
9, 300	SMS Company Limited	259, 470	1. 10
6, 700	Sony Corp.	700, 916	2. 97
4, 400	Symex Corp.	322, 646	1. 37
63, 000	Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited	1, 312, 699	5. 56
1, 900	TDK Corp.	69, 639	0. 29
420, 400	Telkom Indonesia Persero Tbk PT	134, 068	0. 57
7, 500	Tencent Holdings Limited	358, 449	1. 52
12, 000	Terumo Corp.	367, 243	1. 55
4, 500	Tokio Marine Holdings Inc.	263, 599	1. 12
2, 500	Toyota Industries Corp.	174, 015	0. 74
23	Vietnam Dairy Products JSC	82	0. 00
31, 900	XPeng Inc. - A	458, 359	1. 94
70, 021	Zomato Limited	76, 051	0. 32
	株式合計	23, 203, 498	98. 25
	公式な取引所の上場が認められた譲渡可能な証券および金融市場商品合計	23, 205, 767	98. 26
	投資有価証券時価評価額	23, 205, 767	98. 26
	現金	330, 713	1. 40
	その他の資産	80, 350	0. 34
	純資産総額	23, 616, 830	100. 00

** 非流動性証券

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2023年1月20日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年7月21日～2023年1月20日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年1月20日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第13期（決算日 2022年12月9日）

（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

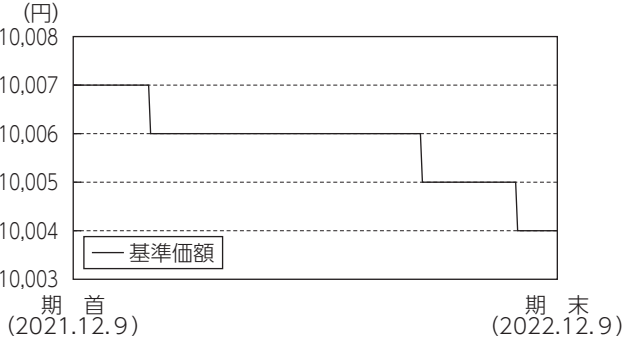
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
12月末	10,007	0.0	—
2022年1月末	10,007	0.0	—
2月末	10,006	△0.0	—
3月末	10,006	△0.0	—
4月末	10,006	△0.0	—
5月末	10,006	△0.0	—
6月末	10,006	△0.0	—
7月末	10,006	△0.0	—
8月末	10,005	△0.0	—
9月末	10,005	△0.0	—
10月末	10,005	△0.0	—
11月末	10,004	△0.0	—
(期末)2022年12月9日	10,004	△0.0	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,007円 期末：10,004円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 159,157,999	% 100.0
投資信託財産総額	159,157,999	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	159,157,999,197円
コール・ローン等	159,157,999,197
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A－B)	159,157,999,197
元本	159,095,941,234
次期繰越損益金	62,057,963
(D) 受益権総口数	159,095,941,234口
1万口当り基準価額(C／D)	10,004円

* 期首における元本額は147,676,216,454円、当作成期間中における追加設定元本額は146,804,060,770円、同解約元本額は135,384,335,990円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド	947,268円
ダイワ／ミレニアセット・インド株式ファンド	29,910,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり)	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし)	998円
US短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり／毎月決算型)	102,434円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	39,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	3,985円
ロボット (年1回) — (為替ヘッジあり)	
i Freeレバレッジ S&P500	10,791,948,720円
i Freeレバレッジ NASDAQ100	75,953,937,119円
クリーンテック株式ファンド (資産成長型)	998,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	999円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし／毎月分配型)	1,000円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし／資産成長型)	499,501円
ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス	4,236,015,061円
ダイワ上場投信－日経平均ダブルインバース・インデックス	6,234,269,565円
ダイワ上場投信－T O P I Xレバレッジ (2倍) 指数	1,010,016,980円
ダイワ上場投信－T O P I Xダブルインバース (－2倍) 指数	926,363,625円
ダイワ上場投信－日経平均インバース・インデックス	7,290,053,955円
ダイワ上場投信－T O P I Xインバース (－1倍) 指数	12,970,925,555円
ダイワ上場投信－J P X日経400レバレッジ・インデックス	538,317,221円
ダイワ上場投信－J P X日経400インバース・インデックス	151,994,519円
ダイワ上場投信－J P X日経400ダブルインバース・インデックス	107,919,373円
ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016－07	997円
ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016－10	997円
先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型／適格機関投資家専用)	207,414,601円
ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用)	45,188,231円
ダイワ日本債15－20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ	4,992,083円
ブルベア・マネー・ポートフォリオ6	19,642,480,283円
ブル3倍日本株ポートフォリオ6	17,085,842,499円
ベア2倍日本株ポートフォリオ6	1,818,361,471円
ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	42,615,540円
ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり／年1回決算型)	9,957円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり)	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし)	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)	997円
ダイワ／ミレニアセット亜細亜株式ファンド	4,148円
通貨選択型ダイワ／ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型)	10,833円
通貨選択型ダイワ／ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型)	10,788円
通貨選択型ダイワ／ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型)	12,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	100,588円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回) —	5,813円
ダイワ／ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) — ジャパン・トリプルリターンズ— 日本円・コース (毎月分配型)	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) — ジャパン・トリプルリターンズ— 豪ドル・コース (毎月分配型)	99,691円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) — ジャパン・トリプルリターンズ— ブラジル・レアル・コース (毎月分配型)	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) — ジャパン・トリプルリターンズ— 米ドル・コース (毎月分配型)	398,764円

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) — ジャパン・トリプルリターンズ— 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	15,402円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド — イーグルアイ2— 予想分配金提示型 日本円・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド — イーグルアイ2— 予想分配金提示型 豪ドル・コース	200,861円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド — イーグルアイ2— 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド — イーグルアイ2— 予想分配金提示型 米ドル・コース	1,999,177円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド — イーグルアイ2— 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース	505,900円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,004円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 48,809,986円
支払利息	△ 48,809,986
(B) 当期損益金(A)	△ 48,809,986
(C) 前期繰越損益金	101,772,030
(D) 解約差損益金	△ 77,894,524
(E) 追加信託差損益金	86,990,443
(F) 合計(B＋C＋D＋E)	62,057,963
次期繰越損益金(F)	62,057,963

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。